

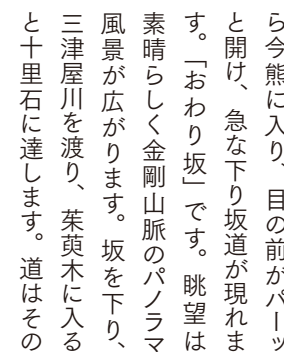
# 特集 高野山開創1200年 大阪狭山の高野街道



高野街道を岩室の十一里石から十里石めざして歩いてみると、

大阪狭山市に入ってから西高野街道を岩室の十一里石から十里石めざして歩いてみると、

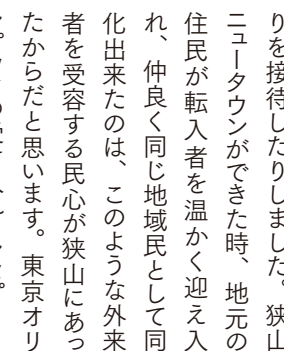
【一里】 高野町 細川  
【二里】 九度山町 河根  
【三里】 橋本市 学文路  
【四里】 橋本市 東家  
【五里】 橋本市 橋谷  
【六里】 橋本市 柱木  
【七里】 河内長野市 天見  
【八里】 河内長野市 三日市町  
【九里】 河内長野市 古野町  
【十里】 大阪狭山市 菜莢木七丁目  
【十一里】 大阪狭山市 岩室二丁目  
【十二里】 堺市東区 関茶屋  
【十三里】 堺市東区 榎元町



この道標石を過ぎたあたりから今熊に入り、目の前がパーッと開け、急な下り坂道が現れます。「おわり坂」です。眺望は素晴らしい金剛山脈のパノラマ風景が広がります。坂を下り、三津屋川を渡り、菜莢木に入ると十里石に達します。道はその

西高野街道沿いには、「是よ道の両側（右側は堺市）には昔からの家並が少し残り、古い木や土の塀が続きます。

その先を少し進むと二又路になり、左側に「左こうや山・十里・右あまの山二里」の道標石があります。1842年（天保13年）建立。



「このように街道沿いに住む狭山の人びとは参詣者のために道標を立てて旅の便宜をはかったり、行きかう旅人に餅やおにぎりを接待したりしました。狭山ニュータウンができた時、地元住民が転入者を温かく迎え入れ、仲良く同じ地域民として同化出来たのは、このような外来者を受容する民心が狭山にあったからだと思えます。東京オリピックの受け入れコンセプトとして脚光を浴びたおもてなしスピリットが……。」

今回の取材は大阪狭山市市史編さん所の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

高野街道は、弘法大師空海の入定の地である高野山への参詣道です。参詣は、平安時代に天皇と貴族を中心に始まり、やがて武士や庶民の間にも広がります。江戸時代になると、人びとは道中の景色や名所旧跡を楽しみつつ、高野山をめざしました。そして、このように高野山に参詣する人たちがとって大阪狭山市はなじみの深い土地でありました。

京都を出て生駒山の西側を南下する東高野街道、大阪市平野区からの中高野街道、大阪市四天王寺からの下高野街

道、堺田市街から河内・和泉の国境を南下する西高野街道という4本の経路があります。大阪狭山市は、このうち中・下・西の3本が市内を縦断しています。この中で今回取りあげる西高野街道は、堺市堺区の大小路を起点とし、向陵西町で竹内街道と分かれ、北区中百舌鳥町を経て中区福田・東区草尾と南東へ進みます。大阪狭山市に入ると山本・岩室・今熊・菜莢木を経て、河内長野市の楠町東で中高野街道、古野町で東高野街道と合流します。

西高野街道沿いには、「是よ道、堺田市街から河内・和泉の国境を南下する西高野街道という4本の経路があります。大阪狭山市は、このうち中・下・西の3本が市内を縦断しています。この中で今回取りあげる西高野街道は、堺市堺区の大小路を起点とし、向陵西町で竹内街道と分かれ、北区中百舌鳥町を経て中区福田・東区草尾と南東へ進みます。大阪狭山市に入ると山本・岩室・今熊・菜莢木を経て、河内長野市の楠町東で中高野街道、古野町で東高野街道と合流します。

高野街道は、弘法大師空海の入定の地である高野山への参詣道です。参詣は、平安時代に天皇と貴族を中心に始まり、やがて武士や庶民の間にも広がります。江戸時代になると、人びとは道中の景色や名所旧跡を楽しみつつ、高野山をめざしました。そして、このように高野山に参詣する人たちがとって大阪狭山市はなじみの深い土地でありました。

京都を出て生駒山の西側を南下する東高野街道、大阪市平野区からの中高野街道、大阪市四天王寺からの下高野街

高野街道は、弘法大師空海の入定の地である高野山への参詣道です。参詣は、平安時代に天皇と貴族を中心に始まり、やがて武士や庶民の間にも広がります。江戸時代になると、人びとは道中の景色や名所旧跡を楽しみつつ、高野山をめざしました。そして、このように高野山に参詣する人たちがとって大阪狭山市はなじみの深い土地でありました。

高野街道は、弘法大師空海の入定の地である高野山への参詣道です。参詣は、平安時代に天皇と貴族を中心に始まり、やがて武士や庶民の間にも広がります。江戸時代になると、人びとは道中の景色や名所旧跡を楽しみつつ、高野山をめざしました。そして、このように高野山に参詣する人たちがとって大阪狭山市はなじみの深い土地でありました。

高野街道は、弘法大師空海の入定の地である高野山への参詣道です。参詣は、平安時代に天皇と貴族を中心に始まり、やがて武士や庶民の間にも広がります。江戸時代になると、人びとは道中の景色や名所旧跡を楽しみつつ、高野山をめざしました。そして、このように高野山に参詣する人たちがとって大阪狭山市はなじみの深い土地でありました。

吉井克信さん  
大阪狭山市教育委員会事務局  
教育部歴史文化グループ主幹  
市史編さん担当学芸員

